



平成24年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年10月28日

上場会社名 加賀電子株式会社
コード番号 8154 URL <http://www.taxan.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 外茂久

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 下山 和一郎

TEL 03-4455-3111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	116,271	3.5	805	68.9	929	64.9	321	77.2
23年3月期第2四半期	120,470	5.7	2,594	605.9	2,644		1,412	

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 958百万円 (%) 23年3月期第2四半期 288百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	11.66	
23年3月期第2四半期	51.18	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年3月期第2四半期	110,147		47,098		41.3	
23年3月期	114,686		48,598		40.9	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 45,530百万円 23年3月期 46,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		15.00		15.00	30.00
24年3月期		15.00			
24年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	238,000	0.0	2,100	41.1	2,600	30.5	1,300	29.9	47.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	28,702,118 株	23年3月期	28,702,118 株
期末自己株式数	24年3月期2Q	1,104,836 株	23年3月期	1,104,656 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	27,597,393 株	23年3月期2Q	27,598,119 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2 . サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3 . 四半期連結財務諸表等.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	10
(5) セグメント情報等.....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	11
(7) 重要な後発事象.....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては、財政赤字問題や雇用の停滞、個人消費も伸び悩むなど景気の減速懸念が一段と強まりました。欧州におきましても同様の傾向のなかで、ギリシャに代表される財政危機問題を抱え不安定な状況にて推移いたしました。また、中国、インドなどの新興諸国においても、先進諸国の景気後退の影響に加えインフレ抑制策もあり、経済成長率の減少が見られ、世界経済は、全般的に減速傾向にて推移いたしました。

一方、わが国経済は、東日本大震災の影響により景気は一時的に落ち込みが見られましたが、サプライチェーンの復旧や復興需要の高まりにより持ち直しの動きを見せました。期後半に入ると、原発問題の長期化や米国、欧州をはじめとした景気の後退や円高の進行などにより先行きは不透明な状況にて推移いたしました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末などの一部需要増加が見られるものの、テレビをはじめデジタル家電など民生機器の出荷減少にともなう電子部品、半導体の需要に影響が生じております。

かかる環境の中で、当社グループは、変化の激しいエレクトロニクス業界に対応するため、経営理念である「すべてはお客様のために」を基本として、グループ全体の連携を強めながら、東日本大震災による影響などを、新素材の開拓やLED照明他の環境関連商品および既存取扱商品の拡販により補うべく努力してまいりましたが、第2四半期連結累計期間における売上高は116,271百万円（前年同四半期比3.5%減）、営業利益は805百万円（前年同四半期比68.9%減）、経常利益は929百万円（前年同四半期比64.9%減）となり、また、四半期純利益は321百万円（前年同四半期比77.2%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

電子部品事業（半導体、一般電子部品、EMS^(注)などの開発・製造・販売など）

電子部品事業は、東日本大震災により一時品不足となった半導体や電子部品の調達ルートを確認し、既存顧客への拡販やLED関連商品の販路拡大に努力してまいりました。海外においてはEMSビジネスの受注増強や中国ローカル企業へ半導体および電子部品の拡販など精力的な営業活動を行ってまいりました。一方、国内では東日本大震災や消費減速にともなう取引先各メーカーの生産調整などの影響によりEMS受注先をはじめ各ユーザーからの受注が減少しました。その結果、売上高は83,411百万円（前年同四半期比5.8%減）となり、セグメント利益は636百万円（前年同四半期比68.8%減）となりました。

(注) Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

情報機器事業（パーソナルコンピュータ、PC周辺機器、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など）

情報機器事業は、東日本大震災の影響もありましたが、パーソナルコンピュータおよび周辺機器など既存商品の拡販や新素材の開拓および7月の地上アナログ放送終了にともなう地上デジタル放送チューナーの受注が増加した結果、売上高は26,591百万円（前年同四半期比9.1%増）となりましたが売上総利益率の低下と販売費用の増加により、セグメント損失は77百万円（前年同四半期はセグメント利益139百万円）となりました。

ソフトウェア事業（CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など）

ソフトウェア事業は、アニメーションのCG制作やアミューズメント機器用画像処理の開発やゲームソフトおよびアプリケーションソフトの販売に注力してまいりましたが、開発期間の延長などにより、売上高は1,533百万円（前年同四半期比43.5%減）、セグメント利益は163百万円（前年同四半期比45.4%減）となりました。

その他事業（エレクトロニクス機器の修理・サポートやスポーツ用品の販売など）

東日本大震災の影響により、ゴルフ用品販売事業の需要減少による不振やサイクル関連事業などの受注が減少しました。その結果、売上高は4,734百万円（前年同四半期比2.2%減）となり、セグメント利益は142百万円（前年同四半期比31.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は110,147百万円（前連結会計年度比4,538百万円の減少）となりました。これは主に売掛債権の減少などによるものであります。

負債につきましては、63,049百万円（前連結会計年度比3,038百万円の減少）となりました。これは主に仕入債務の減少などによるものであります。

純資産につきましては、47,098百万円（前連結会計年度比1,500百万円の減少）となりました。これは為替換算調整勘定の変動などによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、10,251百万円（前年同四半期比1,197百万円の減少）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,446百万円の支出（前年同期は4,591百万円の収入）となりました。これは主に仕入債務の減少などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,449百万円の支出（前年同期は1,563百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,735百万円の収入（前年同期は3,024百万円の支出）となりました。これは主に短期借入金の増加などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経営環境につきましては、東日本大震災の影響から生産の回復や消費も増加するなど景気は回復の動きを見せると思われますが、米国や欧州の経済が減速傾向にある状況に加えて、円高傾向は今後も続くものと想定され、予断を許さない状況が続くものと思われます。

このような環境の中で、当社グループは、グループ内の連携を強めながらシナジー効果の発揮に努め、既存顧客への拡販や新規商材および商権獲得により業容の拡大をはかってまいります。

平成24年3月期業績予想につきましては、現時点では変更はございません。

なお、10月初めよりタイ国において発生しました大規模洪水は産業界のサプライチェーンに大きな影響を及ぼしています。当社グループ会社の工場も浸水被害を受けておりますが、現時点ではその損害状況など合理的な算出が難しい状況にあります。

つきましては、今後業績への重大な影響が見込まれる場合には開示基準に従い、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,926	10,331
受取手形及び売掛金	54,173	51,883
有価証券	71	69
商品及び製品	15,775	16,126
仕掛品	555	776
原材料及び貯蔵品	3,189	3,597
繰延税金資産	975	837
その他	6,392	6,416
貸倒引当金	182	211
流動資産合計	92,876	89,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,494	3,002
機械装置及び運搬具(純額)	1,601	1,368
工具、器具及び備品(純額)	1,016	957
土地	4,099	4,076
建設仮勘定	511	41
有形固定資産合計	9,724	9,445
無形固定資産		
のれん	464	353
ソフトウェア	790	743
その他	1,344	1,293
無形固定資産合計	2,599	2,391
投資その他の資産		
投資有価証券	4,493	4,034
繰延税金資産	619	566
その他	6,000	5,654
貸倒引当金	1,627	1,772
投資その他の資産合計	9,485	8,483
固定資産合計	21,810	20,320
資産合計	114,686	110,147

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,790	36,257
短期借入金	8,505	12,525
未払法人税等	1,511	861
役員賞与引当金	138	107
その他	6,041	5,123
流動負債合計	56,987	54,875
固定負債		
長期借入金	4,636	3,729
退職給付引当金	1,556	1,576
役員退職慰労引当金	1,294	1,340
資産除去債務	226	225
その他	1,385	1,300
固定負債合計	9,099	8,173
負債合計	66,087	63,049
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,912	13,912
利益剰余金	25,038	24,946
自己株式	1,332	1,332
株主資本合計	49,752	49,659
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	246	811
繰延ヘッジ損益	0	2
為替換算調整勘定	2,571	3,320
その他の包括利益累計額合計	2,817	4,129
新株予約権	0	0
少数株主持分	1,664	1,567
純資産合計	48,598	47,098
負債純資産合計	114,686	110,147

(2)四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	120,470	116,271
売上原価	104,410	101,913
売上総利益	16,060	14,357
販売費及び一般管理費	13,465	13,551
営業利益	2,594	805
営業外収益		
受取利息	31	32
受取配当金	35	44
受取手数料	113	105
その他	208	198
営業外収益合計	388	381
営業外費用		
支払利息	50	71
為替差損	219	134
その他	69	51
営業外費用合計	338	257
経常利益	2,644	929
特別利益		
固定資産売却益	1	11
投資有価証券売却益	-	187
受取補償金	140	-
子会社清算に伴う為替換算調整勘定整理益	101	-
その他	-	0
特別利益合計	243	199
特別損失		
固定資産除却損	10	33
投資有価証券評価損	164	75
減損損失	-	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	38	-
ゴルフ会員権評価損	6	19
その他	46	15
特別損失合計	266	148
税金等調整前四半期純利益	2,621	980
法人税、住民税及び事業税	1,084	677
法人税等調整額	104	48
法人税等合計	1,188	628
少数株主損益調整前四半期純利益	1,432	351
少数株主利益	20	29
四半期純利益	1,412	321
少数株主利益	20	29

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,432	351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	208	567
繰延ヘッジ損益	33	1
為替換算調整勘定	902	744
その他の包括利益合計	1,143	1,310
四半期包括利益	288	958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	275	989
少数株主に係る四半期包括利益	13	31

(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,621	980
減価償却費	1,110	1,025
減損損失	-	3
のれん償却額	114	55
貸倒引当金の増減額(は減少)	181	217
受取利息及び受取配当金	67	76
支払利息	50	71
投資有価証券評価損益(は益)	164	75
売上債権の増減額(は増加)	2,263	1,045
たな卸資産の増減額(は増加)	852	1,503
未収入金の増減額(は増加)	198	310
前渡金の増減額(は増加)	101	109
仕入債務の増減額(は減少)	75	3,509
未払費用の増減額(は減少)	48	387
その他の流動負債の増減額(は減少)	279	274
その他	183	65
小計	5,764	1,372
利息及び配当金の受取額	77	75
利息の支払額	57	71
法人税等の支払額	1,015	1,323
その他	178	245
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,591	2,446
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	899	1,478
無形固定資産の取得による支出	523	219
投資有価証券の取得による支出	190	56
投資有価証券の売却による収入	96	273
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	10
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	64	-
短期貸付けによる支出	90	1
短期貸付金の回収による収入	113	19
差入保証金の差入による支出	6	49
差入保証金の回収による収入	42	41
その他の支出	207	99
その他の収入	37	130
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,563	1,449

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,891	4,210
長期借入金の返済による支出	668	915
配当金の支払額	413	414
その他	50	144
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,024	2,735
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	348	1,544
現金及び現金同等物の期首残高	11,797	11,796
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,449	10,251

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表 計上額 (注)
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェ ア事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	88,528	24,384	2,715	4,841	120,470	-	120,470
セグメント間の内部 売上高又は振替高	697	384	1,217	1,833	4,133	4,133	-
計	89,226	24,769	3,933	6,675	124,604	4,133	120,470
セグメント利益	2,042	139	298	209	2,689	95	2,594

(注)セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 セグメント利益の調整額の内容は以下の通りであります。

(単位:百万円)

項 目	金 額
セグメント間取引消去額	6
のれんの償却額	101
合 計	95

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表 計上額 (注)
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェ ア事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	83,411	26,591	1,533	4,734	116,271	-	116,271
セグメント間の内部 売上高又は振替高	800	364	1,781	739	3,687	3,687	-
計	84,212	26,956	3,315	5,474	119,959	3,687	116,271
セグメント利益又は 損失()	636	77	163	142	864	58	805

(注)セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 セグメント利益の調整額の内容は以下の通りであります。

(単位:百万円)

項目	金額
セグメント間取引消去額	18
のれんの償却額	39
合計	58

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

タイ国の洪水被害について

平成23年10月にタイ国において発生いたしました大規模洪水により、連結子会社のKAGA ELECTRONICS (THAILAND) CO., LTD.のアユタヤ工場内に浸水の被害が発生致しました。

この被災による損害額は現時点において未確定ですが、当該固定資産及び動産には保険が付されており、建設、改修、修繕の費用も含まれた実質の損害額は限定的であると見込んでおります。